

## 「頑張る地方応援懇談会 in 岡山」議事概要

1 日 時 平成19年5月27日(日) 13:30~15:30

2 場 所 「岡山県市町村振興センター」5階 大ホール  
岡山県岡山市今2-2-1

### 3 出席者

#### 【市町村長】

たか	や	しげ	お	おかやま
高	谷	茂	男	岡山市長
くろ	だ		すすむ	たまの
黒	田		晋	玉野市長
たけ	うち	よう	じ	そうじや
竹	内	洋	二	総社市長
い	で	こういちろう	まにわ	まにわ
井	手	紘一郎		真庭市長
さ	とう	とも	ひこ	はやしま
佐	藤	友	彦	早島町長
にし	だ		たかし	しょうおう
西	田		孝	勝央町長
おく	むら	ただ	お	みさき
奥	村	忠	夫	美咲町長
しげ	もり	かず	み	きびちゆうおう
重	森	計	己	吉備中央町長

#### 【総務省】

か	わい	つね	のり	総務大臣政務官
河	合	常	則	
ふじ	い	あき	お	自治行政局長
藤	井	昭	夫	
やす	むら	ゆき	お	中国総合通信局長
安	村	幸	夫	
いく	しま	ふみ	あき	自治行政局自治政策課長
生	嶋	文	昭	
		ひろ	ゆき	自治財政局調整課長
	せき	博	之	
	関			
はやし	ざき	おさむ	り	自治税務局市町村税課長
林	崎	理		

### 4 次第

#### (1) あいさつ

- ① 河合 常則 総務大臣政務官
- ② 竹内 洋二 総社市長

#### (2) 総務省からの説明

- ① 頑張る地方応援プログラムについて
- ② 地方行財税制上の諸課題等について

#### (3) 意見交換

## 5 要 旨 〔主な意見〕

### (1) 市町村長

- ・ 人件費の適正化、アウトソーシングの活用、公共事業費の抑制など、削減できるところは削減してきているので、この上、交付税も削減されると大変な状態になるので、特段の配慮をいただきたい。
- ・ まだまだ中央が縦割り行政になっていて、末端では非常に困っている。ぜひ総務省の方で各省庁の方へお願いをしていただきたい。
- ・ コミュニティーバス事業は、交通弱者を救済するということで、赤字の部分を抱えた中での運行になるということ考慮に入れながらやっていかなければならないと考えるので、サービス存続のためにぜひ御配慮いただきたい。
- ・ 地方交付税制度の見直しに当たっては、地方自治体の多様性を適正に反映し、財源偏在化の拡大を招くことのないような御配慮をお願いしたい。
- ・ 成果指標によって交付税の割合を決めていくということについては、過疎地域にとっては成果が得られにくい項目が挙がっているので、その点御配慮いただきたい。
- ・ 新型交付税の導入については、面積が広くてもほとんどが山林という地域はあまり影響はないと思うが、面積が広くて全域にわたって民家が点在し財政需要が掛かるところは、どう計算するかが問題。減額にならないように何かいい方法で補正してもらわないと、納得がいかない。
- ・ プログラムの成果目標は、9つ全部をクリアするのは大変難しい。それによって、評価が下がるのであれば問題。9つ全部クリアしなくても1つだけ結果として出ればそれでもって評価されないのか教えていただきたい。成果ではなく、取り組む姿勢と選択が一番大切ではないかと考える。
- ・ 短期間ではなかなか成果の出ないものがある。少し長くスパンを見て、真に頑張る団体だと評価して、それを交付税に上乘せしていただけるのか教えていただきたい。
- ・ 地域に工場があって、その工場がみんなの世話になったり迷惑をかけている場合、当該地域に税が落ちるような税制にならないか切実に思っている。
- ・ 農村には税をいただく客体が少ないのだから、税源移譲されてもうまくいかない。都市部と地域間との格差が拡大していくのではないかと思う。
- ・ 高齢者がたくさんいると、需要額・経費もたくさん要るということを十分調査していただき、高齢者福祉等に配慮いただきたい。

### (2) 総務省

- ・ 条件不利地域の現状をどのように評価していくかが非常に大事。みんなで、成果指標については、今年度は提示している9つでいくとして、それ以降は柔軟な姿勢でいるので、ぜひ御相談させていただきたい。

- ・ 基準財政需要額の今後の見通しについては、事務的にはお伝えしているが、今後とも御意見を伺いながら、我々も努力していきたい。
- ・ 社会保障関係費・少子化対策経費については、今後の財政運営を考えたときに、税の体系としてどうあるべきか、財政需要についてどのように手当てしていけるか、ということを引き続き議論し、考えをまとめて主張していきたいと思っているので、引き続きお知恵をいただければありがたい。
- ・ 少子化対策はまさに現場でやっていただくものだが、現場が苦勞しては理念が良くても手法が悪いということになるので、事務的にもいろいろ勉強させていただいて、皆さんのところが困らないようにしていきたい。
- ・ コミュニティバスというのは、どうしても一定の財政需要が起きる大事な分野だと思っている。調査しているものから外れているものがあれば教えていただいて、措置を検討していきたいと思う。
- ・ 税の偏在是正の問題、財政全体としての偏在の問題、財務省と審議官級の実務者会合を始めたが、まだ検討途上である。いろいろと議論してまいりたい。
- ・ 頑張る地方応援プログラムについては、同じ一定の指標であっても、その指標の数字の現れ方が地域によって違うのではないかという問題意識を持っている。いろいろと検討しているところであるので、引き続き御意見いただければありがたい。
- ・ 新型交付税の実態を今年度の算定に向けて県を通じてお話を伺いながら、できるだけ財政面に支障が生じないように、いただいた御意見を見ていきたい。
- ・ 今年は、基本的に、成果目標は9つでいきたいと思っている。来年度から変える分には、いろいろな御意見をいただいているので検討したいと思う。
- ・ 条件不利地域の算定の仕方について、一定の配慮ができないかということは今検討しているので、お示ししたものをみていただき、引き続き御意見賜ればありがたい。
- ・ 9つの成果指標全部はまるようなプロジェクトというのは基本的に我々想定してないので、それぞれの地域の実情に応じてプロジェクトを選んでお出しいただくのだろうと思う。
- ・ 補助制度を御活用されるプロジェクトがあって、それをぜひ優先採択なりしてほしいというお話があれば、リストの中にどんどん随時加えていく作業をしたい。また、各省で他の事業がまた出てくれば、それはその都度御意見をいただきながら加えることは全くやぶさかではない。これで固定していくつもりはないので、プロジェクトをお組みになりながら具体例を教えていただければありがたい。
- ・ スパンは、我々3年間ということなので話をしているので、当面3年間プロジェクトを対象としてやっていこうと思っているが、6年、10年の話になるとこのプロジェクトを続けるかどうか、お約束は控えさせていただきたい。成果がどのように出てくるか、いろいろと御意見をいただきたい。

- ・ 高齢者の多いところは御苦労が多いただろうということもあり、新型交付税へ移行するとき高齢者人口はそのままにしている。また、新型交付税の地域振興費という費目を設けて配慮することになっているが、地域の実態や財政需要は引き続き勉強して対応していきたい。
- ・ 税源移譲は、6月が近づいてきて、政府でやるべき広域メディアを使っただけの広報をしているが、いよいよ現場は大変だと思う。くれぐれもよろしくお願ひしたい。
- ・ 何よりも交付税と合わせた一般財源をしっかりと確保していくということが大事だろうと思うので、引き続き努力をしてまいりたい。
- ・ ふるさと納税については、この度6月1日に研究会を発足して、年末の税制改正につなげていきたいということで、しっかりと勉強して進めていきたいと思う。
- ・ 皆様方のところで、頑張る地方応援プログラムの中で情報通信について、もしも真剣に御検討だということであれば、限られた予算の中ではあるが、優先的な選択ができるという形になっているので、お見逃しなきようにお願ひしたい。
- ・ 中央省庁の縦割り行政の弊害が地方に押しつけられるということは、絶対あってはいけないことだと思う。
- ・ 地域の自主性、自立性というものを尊重して、やる気のあるところにはどんどん発展してもらって、そういう形での支援をしていきたいと思う。
- ・ 行政というのは人相手の仕事であるので、それぞれの地域で通ずる人たちが幸せを感じてもらえるような形での行政制度をつくっていくということについて、いい具合に力を合わせて、知恵を出し合って頑張らせていただきたい。
- ・ ふるさと納税については、基準財政収入額が増えて、その分交付税が減るとしたらその趣旨にそぐわない面があるので、そうならないように検討を進めていきたい。